

令和 7 年 3 月

伊東市議会 3 月定例会

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

伊 東 市 議 会

予 算 大 綱 質 疑 順 序

- 1 正 風 ク ラ ブ 佐 藤 周 君
(3月4日(火) 10時～11時30分)
- 2 自 由 民 主 伊 東 井 戸 清 司 君
(3月4日(火) 13時～14時30分)
- 3 公 明 党 篠 原 峰 子 君
(3月4日(火) 14時40分～15時40分)
- 4 伊 東 未 来 大 川 勝 弘 君
(3月6日(木) 10時～11時)
- 5 政 和 会 杉 本 憲 也 君
(3月6日(木) 11時10分～11時55分)
- 6 会派に所属していない 重 岡 秀 子 君
(3月6日(木) 13時～13時25分)
- 7 会派に所属していない 犬 飼 こ の り 君
(3月6日(木) 13時25分～13時50分)
- 8 会派に所属していない 田 久 保 眞 紀 君
(3月6日(木) 14時～14時25分)
- 9 会派に所属していない 浅 田 良 弘 君
(3月6日(木) 14時25分～14時50分)

※ 質疑時間は、進行状況によって変更することがあります。

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

正風クラブ 佐 藤 周

1 市長説明並びに施政方針について、以下3点伺う。

- (1) 令和6年度は「移住・定住施策の継続的な取組等により、消滅可能性自治体から脱却し、本市が活力を取り戻しつつある確かな手応えを感じられた」と振り返っているが、脱却できた要因をどのように分析し、また活力を取り戻しつつある確かな手応えとは何であると捉え、令和7年度の経営方針に生かしているか伺う。
- (2) 令和7年度の市長経営方針を、「『輝く伊東の未来を創る～改革、そして躍進へ～』とし、不断の改革により、本市をとりまく諸課題や社会経済情勢の変化に対応した持続可能なまちづくりを着実に進め」としているが、本市を取り巻く諸課題や社会経済情勢の変化とは何であると考えているか伺う。
- (3) 令和7年度当初予算案は、子育て支援や教育分野、まちづくりの推進に重点を置くとしているが、その理由について伺う。

2 「未来を拓く取組」について、以下5点伺う。

- (1) 最新の人口動態等を踏まえ、令和8年度からの新たな伊東市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略を策定するとしているが、令和6年の出生数が200人を割った現状の人口減少をどのように評価し策定に当たるか伺う。
- (2) 新図書館建設事業は、建設工事の着手から完成までの準備は整ったように見受けられるが、新図書館開館までの取組について伺う。
- (3) 文化ホール建設地の選定に当たり、今後の取組について伺う。
- (4) 小・中学校の給食費無償化により、給食を提供する側と児童・生徒や保護者、学校現場への影響及び効果について伺う。

- (5) 小・中学校の給食費無償化により、一般会計予算に占める教育費の割合が増える中、ほかの教育費予算への影響について伺う。

3 一般会計歳入について、以下2点伺う。

- (1) 寄附金について、対前年度比23.4%、1億9,070万円の増は、ふるさと伊東応援寄附金の増加によるとのことであるが、寄附額の増加に向けた取組を伺う。
- (2) 市税全体では、対前年度比6.1%の増を見込んでいるが、個人・法人市民税や固定資産税、市たばこ税及び入湯税などについて、市内経済状況をどのように把握し、積算したか伺う。

4 一般会計歳出について、以下2点伺う。

- (1) 義務的経費において、人事院勧告の影響により、人件費を対前年度比7.3%の増としているが、これによる歳出全体への影響について伺う。
- (2) 歳出全体では、対前年度比7.9%、23億3,000万円の増であるが、投資的事業費は、対前年度比3.4%、約7,200万円の増にとどまった理由について伺う。

5 令和7年度は、団塊の世代全員が75歳以上となる年であることから、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計及び後期高齢者医療特別会計への影響について伺う。

6 「安全で安心して暮らせるまち」に係る事業について、以下2点伺う。

- (1) 市民の重要なライフラインである上下水道施設の耐震化や老朽化した管路の効率的な更新に向けた取組について伺う。

- (2) 消防体制の強化のため、老朽化した防火水槽の耐震性貯水槽への更新など、安定した水利確保に向けた消防施設の整備状況について伺う。

7 「誰もが健やかに暮らし活躍できるまち」に係る事業について、以下3点伺う。

- (1) 予防接種事業において、定期接種に加え、18歳以下等のインフルエンザ、おたふくかぜを任意接種として独自の費用助成を実施する背景について伺う。

- (2) 出産・子育て支援の充実のため、これまでどおり妊娠期から切れ目のない支援体制を構築しているが、新たに実施する1か月児健康診査への公費助成により期待する効果について伺う。

- (3) 放課後児童クラブでは、放課後児童支援員等処遇改善事業を引き続き実施し、支援員の質の向上・雇用の確保に努めるとしているが、その取組内容について伺う。

8 「良好な環境が広がり快適に暮らせるまち」に係る事業について、以下3点伺う。

- (1) 脱炭素社会の実現に向けた次世代を担う子供たちへの環境学習の推進について、どのように推進していくか伺う。

- (2) 下水道事業の健全経営を目指すための取組である、下水道計画区域の見直し及び新たな官民連携手法の導入検討について、その取組の概要を伺う。

- (3) 公共交通体系の充実について、従来からの取組である生活路線バス補助事業及び交通空白地域対策等の取組内容について伺う。

9 「心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち」に係る事業について、以下2点伺う。

(1) 教育環境の整備について、教育問題懇話会の答申において今後の学校統廃合の方針が示された中で、学校施設の修繕や改修の方向性について伺う。

(2) 誰ひとり取り残さない教育の実現において、多様な教育的ニーズへの対応として不登校対策があるが、児童・生徒の状況に応じた適切な支援の取組について伺う。

10 「活力にあふれ交流でにぎわうまち」に係る事業において、インバウンド需要が高い状況が続いているとのことであるが、同需要によって引き起こされる課題への対応について伺う。

11 「総合計画を推進するための土台づくり」に係る事業におけるデジタル化の推進について、令和7年度は伊東市DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進計画の最終年度であることを踏まえ、以下3点伺う。

(1) 庁外公共施設のデジタル化に向けた整備状況について伺う。

(2) 市民の利便性向上を図るための行政サービスの推進について伺う。

(3) 職員の業務効率化、省力化への取組について伺う。

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

自由民主 伊東 井 戸 清 司

令和 7 年度予算案及び施政方針に関し、以下 4 点伺う。

- 1 一般会計予算規模を 3 1 8 億 5, 0 0 0 万円とし、市税収入は 1 1 1 億 4, 6 1 0 万 5, 0 0 0 円で対前年度比 6 億 4, 2 2 8 万 8, 0 0 0 円、率にして 6. 1 % 増と大幅な増収が見込まれているが、平成 3 1 年度予算案では 1 1 1 億 3, 5 1 5 万 4, 0 0 0 円であったことから、コロナ禍前に戻っただけであり、また、国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療及び下水道事業への一般会計からの繰出額は 4 8 億 3, 0 0 0 万円で一般会計予算の 1 5. 2 % と大きな比重を占めている。このような状況の中、令和 7 年度予算において、複数の大型事業が計画されていることから、財政状況をどのように捉え、また分析しているか伺う。
- 2 一般会計予算において、伊東駅周辺地区整備事業、新図書館建設事業、文化ホール建設調査事業と本市のまちづくりに関する 3 つの大型事業の予算を計上しているが、同時期に実施する場合、国県の補助金や大規模な起債の活用が必要であると考えことから、今後の公債費の一時的な上昇など財政負担への影響を伺うとともに、これら事業の計画及び概要について伺う。
- 3 市立認定こども園整備事業について、宇佐美保育園の現況に鑑みると、早急に進めなければならない事業であることは理解するが、保護者や地元関係者からは建設予定地が相模トラフ地震の津波浸水想定区域であり、不安の声や計画の見直しを求める要望が上がっていることから、計画の推進に当たり、まずは関係者の賛同と理解を求めることが第一であると考えるが、本市の見解を伺う。

4 一般会計歳出について、以下7点伺う。

(1) 第2款総務費について、以下5点伺う。

ア 庁舎維持管理事業における庁舎レイアウト変更業務委託料の内容及び必要性について伺う。

イ 魅力あるまちづくり事業における補助金については、内容をリニューアルする必要があると考えるが、同事業の概要及び今後の在り方について伺う。

ウ 友好都市締結40周年記念事業の内容について伺う。

エ 企業誘致事業の概要及びこれまでの実績について伺う。

オ 健康保養地づくり事業における、豊かな時を過ごせる成熟リゾート環境の整備事業及び“選ばれるまち”を目指したシティープロモーションについて、事業内容及び予算内訳について伺う。

(2) 第3款民生費において、令和6年度では予算計上されていた県障害者スポーツ大会開催事業及び福祉体験学習事業が皆減となった理由について伺う。

(3) 第4款衛生費について、以下2点伺う。

ア 予防接種事業において、新年度から任意予防接種事業として新たな枠組みの事業もあることから、その内容について伺う。

イ ふれあい収集事業について、毎年度利用者は増加しているものの予算規模は同程度で推移していることから、事業を進める上で十分な予算となっているか伺うとともに、利用者数の推移及び今後の事業展開について伺う。

(4) 第7款観光商工費について、以下2点伺う。

ア 負担金として、静岡県観光協会に184万8,000円、県大型観光キャンペーン推進協議会に84万9,000円、県東部地域スポーツ産業振興協議会に12万円が計上されているが、それぞれの活動内容及び本市へのメリットについて伺う。

イ 地域活性化事業における伊東温泉魅力創出事業費補助金及び令和7年度からの新たな事業である宿泊業の経営力基盤強化事業補助金について、それぞれの概要及び交付方法について伺う。

(5) 第8款土木費における都市計画道路伊東大仁線改良事業について、これまでの進捗状況及び令和7年度の事業概要について伺う。

(6) 第9款消防費における消防団員準中型等自動車免許取得費補助事業について、その概要及び想定される対象人数等について伺う。

(7) 第10款教育費について、以下3点伺う。

ア 就学援助事業について、前年度と比較し大幅な減額となった理由について伺う。

イ 私立幼稚園施設型給付等事業について、利用定員は減っているものの、約750万円増額となった理由について伺う。

ウ 社会教育施設長寿命化計画の対象施設及び件数について伺う。

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

公明党 篠 原 峰 子

令和7年度予算案及び市長施政方針について、以下10点伺う。

- 1 令和7年度の当初予算案を、「子育て支援や教育分野、まちづくりの推進に重点を置く中で、事業の選択と集中、洗練と創設により、『未来を拓く取組』の更なる進展を目指す予算案としてまとめた」と述べられたが、それら施策に重点を置いた理由を伺うとともに、本市のどのような未来を描いた取組となるのか市長の考えを伺う。
- 2 「みんながつくる伊東市」において、令和8年度を開始年度とする第五次伊東市総合計画第十二次基本計画の策定や新たな伊東市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略を策定することであるが、どのような視点から何に重点を置き取り組むのか伺う。
- 3 「みんなが楽しい伊東市」において、伊東駅周辺地区整備事業、新図書館建設事業、文化ホール建設調査事業の3つの大型事業を挙げているが、これは市長の施政方針でもあるボトムアップによる市政運営に沿い、市民の声を形にする取組であると理解する一方、大きな予算を伴う事業であり、市民への丁寧な説明やこれまで以上に市長の思いをしっかりと発信していくことが重要であると考えことから、3つの事業の必要性について、市長の考えを伺う。
- 4 「みんなが暮らす伊東市」において、小・中学校の給食費を無償化することであるが、実施に至った要因及び期待する効果を伺うとともに、これまで取り組んでいた地産地消給食の推進や学校給食の教育的意義について、考えを伺う。

5 「安全で安心して暮らせるまち」に係る事業において、防災・減災対策に関する新規事業や重点事業を、どのような観点から実施することとしたか伺う。

6 「誰もが健やかに暮らし活躍できるまち」に係る事業について、以下3点伺う。

(1) 予防接種事業は、新たに高齢者以外の带状疱疹ワクチン、18歳以下等のインフルエンザワクチン、おたふくかぜワクチンの任意予防接種事業が計上されており、同様の予防接種事業は他市町によって様々であるが、本市の取組内容及び実施理由について伺う。

(2) 生活困窮者への支援について、新たに支援会議を設置するとのことであるが、設置経緯を伺うとともに、どのような支援の充実につなげていくか伺う。

(3) 高齢者福祉の充実について、新たに高齢者タクシークーポン券購入助成事業を実施するが、実施経緯及び事業内容について伺う。

7 「良好な環境が広がり快適に暮らせるまち」に係る事業について、以下2点伺う。

(1) 公共交通体系の充実は、市民の日常生活を支え、また、高齢者の生活範囲の拡大と社会参加の促進を図るためにも大変重要な取組となるが、令和7年度の事業内容及び今後の見通しについて伺う。

(2) 生活排水対策の充実について、地方公営企業として持続可能かつ安定的な健全経営を目指し、下水道計画区域の見直しや新たな官民連携手法の導入を検討するとのことであるが、本市の下水道事業における現状の課題及び令和7年度の取組内容について伺う。

- 8 「心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち」に係る事業において、「多様な教育的ニーズに対応するとともに、児童生徒一人一人の状況に応じた適切な支援を行うため、支援員の適正な配置や教職員の研修を強化する」とあるが、令和7年度予算にどのように反映させているか伺う。
- 9 「活力にあふれ交流でにぎわうまち」に係る事業について、以下3点伺う。
- (1) 伊豆高原観光オフィスの組織力向上や活動強化を図るとのことであるが、その目的及び取組内容を伺うとともに、期待する効果について伺う。
- (2) 移住定住の促進・関係人口の拡大について、新たに移住コーディネーターを設置することであるが、これまでの移住定住施策がどのように強化されるのか、期待する効果について伺う。
- (3) 農業の振興において、農業従事者の高齢化等による担い手不足は深刻な状況であり、より積極的な担い手の育成や遊休農地の有効活用の推進が必要と考えるが、令和7年度の取組内容について伺う。
- 10 「総合計画を推進するための土台づくり」に係る事業における、デジタル化の推進に関し、システム標準化対応業務委託料が様々な事業に予算措置されているが、その概要を伺うとともに、全体の予算額及び今後の見通しについて伺う。

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

伊東未来 大 川 勝 弘

令和7年度伊東市一般会計予算案に関し、以下3点伺う。

- 1 令和7年度は、対前年度比で23億3,000万円増額の318億5,000万円の予算規模とし、市政施行以来、最大規模の予算額となったことに対し、歳入の根幹である市税が111億4,610万5,000円と対前年度比6億4,228万8,000円の増額にとどまる中、最大規模の予算額となった要因について伺う。
- 2 新図書館建設事業について、継続費として、令和7年度に2億1,275万円、令和8年度に14億8,925万円、令和9年度に25億5,300万円と3年度合計で42億5,500万円が計上され、近年では最大規模の公共事業であり市民の関心も高いことから、事業費の積算根拠及び今後のスケジュールを伺うとともに、入札見込みをどのように考えているか伺う。
- 3 以下の事業等について、事業内容及び今後の見通しを伺う。
 - (1) 第2款総務費
 - ア 庁舎維持管理事業における庁舎レイアウト変更業務委託料
 - イ 姉妹都市締結60周年記念事業
 - ウ 友好都市締結40周年記念事業
 - エ 伊東港・伊東港海岸整備基本構想策定事業
 - オ 文化ホール建設調査事業
 - カ 庁内外LAN設備推進事業
 - キ 自動証明書交付機導入事業

(2) 第4款衛生費における予防接種事業のうち带状疱疹ワクチン予防接種

(3) 第7款観光商工費

ア 観光消費動向等調査委託料及び観光動態分析業務委託料

イ 美しい伊豆創造センター負担金

ウ 地域活性化事業における伊東温泉魅力創出事業費補助金

(4) 第8款土木費

ア 予防伐採事業

イ 伊東駅周辺地区整備事業

(5) 第10款教育費

ア 就学援助事業

イ 情報教育推進事業

ウ 学校給食費無償化事業

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

政和会 杉 本 憲 也

令和 7 年度予算案及び施政方針について、以下 3 点伺う。

- 1 施政方針では、市長が「自ら先頭に立ち、全力で市政運営に邁進する」としているが、予算編成において最も重要な予算編成方針に係る当局通知である、令和 6 年 1 0 月 1 日付発出の「令和 7 年度予算編成について（通知）」において、近隣の熱海市、三島市及び沼津市などでは同様の通知がいずれも予算編成のトップたる市長名にて発出されているのに対し、本市は市長名ではなく副市長名で発出されている理由について伺う。

- 2 令和 7 年度予算案における委託料、負担金及び補助金に関し、以下 5 点伺う。

- (1) 予算編成における委託料、負担金及び補助金の定義について伺う。

- (2) 予算編成方針において、民間委託に関しては、「職員が業務ノウハウを失ってしまうことにより適切に監督し得ない状態が生じないように、職員が当該業務に関する管理監督能力を保持するよう研修等に努めること」と示していることから、管理監督能力保持のための研修等について、具体的な施策及び予算の概要について伺う。

- (3) 総計予算主義の原則に鑑み、新年度予算において、本市の委託事業における参加費や入場料、出店料などの受益者負担分については、全て歳入として計上しているか伺う。

(4) 予算編成方針では、「使用料・手数料については、対象となる施設等の維持管理経費を料金の算出根拠の基準として精査した上、受益と負担のバランスのとれた適正な水準が保たれるよう見直しを進めるとともに、法令等の規定によらない使用料・手数料については、予算編成作業の中で改定を検討すること」と示されているが、一般会計予算案では、使用料及び手数料の歳入6億5,686万円に対し、歳出における使用料及び手数料充当額が5億5,266万3,000円となっており、歳入が1億419万7,000円上回っている理由を伺うとともに、その適正性と使用料及び手数料の使途に関する本市の見解について伺う。

(5) 予算編成方針において「負担金については、拠出先や対象事業について精査し、本市にとってのメリット等その必要性を十分に見極めた上で、廃止を含め再検討すること」と示していることから、負担金に関し、以下2点伺う。

ア 本市が補助や委託を行っている団体が構成員となっている負担金事業の実施団体はあるか伺う。

イ 負担金事業のうち、本市以外の構成員には費用負担がなく、本市が事業費用を全て負担している事業はあるか伺う。

3 一般会計歳入のうち財産貸付収入について、貸付料徴収の理由及び貸付料収入の使途について伺う。

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

重 岡 秀 子

1 高齢者生活支援事業における新規事業の高齢者タクシークーポン券購入助成事業について、以下2点伺う。

(1) 事業内容及び目的について伺う。

(2) 申請方法等の十分な広報が必要と考えるが、どのように周知を行っていくか伺う。

2 市営住宅性能向上事業について、以下2点伺う。

(1) 角折及び新山住宅の住戸改良事業の目的及び現状について伺う。

(2) 住戸改良事業の今後の見通し及び課題について伺う。

3 病院事業会計において、新たに取り組む周産期医療体制交付金における本市の考え方について伺う。

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

犬 飼 このり

- 1 ふるさと伊東応援寄附金に関し、歳入として１０億円を見込んでいるが、ふるさと伊東応援寄附金返礼事業の財源以外の使途としてどのようなものを見込んでいるか伺うとともに、市民に対し見込む効果について伺う。

- 2 国際交流推進費について、これまでの事業効果を伺うとともに、令和６年実施の市民満足度調査の結果を踏まえ、どのように市民理解を得る取組としていくのか、今後の展望について伺う。

- 3 予防接種事業における予防接種健康被害給付金の概要について伺う。

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

田久保 眞 紀

- 1 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を財源に実施する学校給食費無償化事業について、以下2点伺う。
 - (1) 経済的な理由で通学が困難な児童・生徒については、就学援助制度で給食費が免除されていることから、同事業は限定的な世帯に対する物価高騰対策であると考えてるが、本市の見解について伺う。
 - (2) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を財源として、同事業以外に物価高騰対策事業を予定しているか伺う。
- 2 新図書館建設事業について、前回の入札不調を受け、再設計を経て再入札となるが、同事業に対する今後の方針について伺う。

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

浅 田 良 弘

- 1 予防接種事業において、新たに定期接種化される高齢者带状疱疹ワクチン予防接種及び18歳以下等のインフルエンザワクチン並びにおたふくかぜワクチンなどの任意接種に対する助成の概要について伺う。

- 2 県と市町が共同運営する静岡県救急安心電話相談窓口の運営負担金が、令和7年度から新たに計上されていることから、救急安心電話相談窓口の概要及び周知方法について伺う。

- 3 本市における学校給食に関し、学校給食費無償化事業を実施するに当たり、これまでの実施方法との違いを伺うとともに、事業を継続するための財源確保策及び物価高騰などにより給食食材の質や量が低下することへの対応策並びにアレルギー対応への配慮について伺う。